

Essay

Sapiarc.com

2020年8月12日(2020-2)

教育実習の思い出

今朝の朝日新聞の一面トップニュースは、文科省が、今年度は「教育実習」をしない（できない）学生にも教員免許を与えることを決めたというものだった。コロナ禍がこんなところにまで影響しているのだ。これで、私は、62年前の1958年(昭和33年)の6月ごろ、自分が行った教育実習のことを思い出した。

私は、当時、東大理学部化学科の4年生で、卒業後高校の教員になろうとは思っていなかったが、理学部学生が教員免許を取得することは普通だったので、自分も取れるものは取っておこうと思ったに過ぎなかった。教員免許を得るためには、いろいろな科目で単位を取っておくことも必要だったが、その仕上げのようなものが、実際に高校で行う教育実習だった。

東大には、教育学部附属高校があったので（現在は、教育学部附属中等学校）、そこで教育実習をする学生が多かったが、なぜか私は都立富士高校に行くことになった。当時私は、杉並区の荻窪に住んでいたもので、中野区にある富士高校に近いということも関係していたかもしれない。

富士高校は、昭和23年の学制改革以前には東京府立第五高等女学校だった。つまり女子校だったが、1958年には共学になっていた。一学年の男女数は正確には記憶していないが、男子150名、女子200名ではなかったかと思う。女子250名だったかもし

れない。女子の方が多かったことは間違いない。これは、私が卒業した日比谷高校の逆だった。旧府立一中だった日比谷高校では、男子300名、女子100名だった。

当時、高校での教育実習はのんびりしたものだった。富士高校で、教育実習をした東大生は僅か3人で、文学部から2人（英文科から1人、国文科から女子学生1人）と私だけで、富士高校で、特別なプログラムが組まれていたということはなかった。教育実習生（当時は「教生」という呼び名が普通だった）の指導を担当する教員が決められていて、その教員が行う授業を見学し、自分が授業をするときもあった。高校での教育実習期間は2週間で、これは現在も変わっていないようだ。普通、教生が授業する回数は週に3回か4回ぐらいではなかったかと思う。もっと少なかったかもしれない。

私の場合には、これから書くハッピーニングがあって、私は一日に2回も授業をするようになった。つまり、非常に珍しい経験をしたのだ。私は、もちろん化学の授業をしたのだが、指導教員は30歳代半ばかと思われる比較的若い人だった。この教員が、私が来て数日経ったころ、それまでの学年にはしていなかった実験を生徒たちにさせることにした。その実験は、フッ化水素酸でガラス板を腐食して、筆で何かを描いたりするものだった。フッ化水素酸はフッ化水素の水溶液で、塩酸に近いものだが、塩酸よりもずっと危険性の高いものだ。

したがって、実験をするときには、手に付けないように注意する必要がある。手に付けても直ぐに痛くなることはないが、数時間を経てから痛くなるのが、この化合物の怖いところだ。この点は、私は、理学部化学科の実験で熟知していた。クラスメートのなかには、手に付けたフッ化水素酸を十分に洗い落さなかったために、翌日、手の皮膚が痛んで困った人がいた。

実験自体は簡単なものだから、時間はかからなかった。私は、生徒たちに、フッ化水素酸を手に付けないようにしないとけないと言って回った。ところが、驚いたことに、教員自身が、自分の掌でフッ化水素酸が浸みこんだ紙などを押さえつけたりしていたのだ。「そんなことをしても大丈夫ですか」と、私は逆に教員の注意をうながしたのだが、その教員は「大丈夫だ」と答えた。私は、差し出がましくなるので、それ以上は言わなかった。

次の日の朝になって、その教員は、両手を包帯でぐるぐる巻きにして現われた。生活をするのに困るぐらいの大変な状態だった。そんな状態だから、その教員は授業をすることができなかった。それで、急遽、代わりに私が化学の全授業をすることになった。とくに準備をしていたわけではなかったが、教科書は、私が日比谷高校のときに使ったものと同じだった。また、化合物に関する知識は化学科3年次の講義や実験でかなり豊富になっていたので、高校の授業をすることは容易だった。というわけで、日に2回ずつぐらい授業をした。こういう状態が少なくとも数日間続いたように思う。教育系大学の化学科出身者だったはずの、その教員がなぜフッ化水素酸が危険なものかを知らなかったのか、私には不思議でならなかった。

こういう状態で、ともかく教育実習は終わった。教員免許状をいつもらったかは憶えていないが、私は、高校理科2級、中学理科1級の免許状をもらった。2級では高校長になることはできない。大学院で修士

の学位を取得してから、申請すると1級の免許状をもらえるはずだったが、私は申請しなかった。というわけで、私の教員免許は使われないままになった。

富士高校は1920年(大正9年)創立なので、今年で開校百周年を迎えた。コロナ禍のせいで、きちんとした式典をすることは難しいだろう。蔭ながら私はこの高校の発展を祈っている。(おわり)